

2019年11月19日

大学研究施設を活用した消防職員研修を実施します。

新潟工科大学（学長：大川秀雄／柏崎市藤橋1719番地）は、柏崎消防本部と連携し、大学研究施設である風洞実験設備と地震波振動台を活用し、消防職員による強風及び地震の体験を通じた研修を実施します。

柏崎市を震源とする中越沖地震から12年が経過しました。また近年では、全国各地の風水害等の自然災害が多く発生し、甚大な被害をもたらしています。こうしたなか、災害現場の最前線に立つ消防職員の若年化が進み、災害経験の少ない職員が増加していることを踏まえ、人材育成の一環として本研修を実施することとなりました。

なお、本研修は、本年8月に本学で開催した「新潟工科大学 都市防災セミナー」を、柏崎市内の防災関係者に聴講いただいたことがきっかけで実施に至りました。

実施の概要は、以下のとおりです。当日の取材等、よろしくお願ひします。

【概要】

〔日 時〕 令和元（2019）年11月25（月）・26日（火） 両日とも午前10時30分～正午

- 〔内 容〕
- ・強風体験（国内最大級の風洞実験室内で風速20m/s相当の暴風を体験）
〔風・流体工学研究センター 風洞実験室〕
風・流体工学研究センター長・教授 富永 禎秀
 - ・地震体験（国内有数の3次元振動台で中越地震や中越沖地震を再現した揺れを体験）
〔原子力耐震・構造研究センター 地下2階 振動実験室〕
工学部建築・都市環境学系 講師 涌井 将貴

※〔 〕内は実施場所

〔問合せ先〕 新潟工科大学 風・流体工学研究センター 0257-22-8181